平和の尊さを見つめなおしたい

8月15日は終戦記念日です。福生市でもこの日の前後に各施設で平和を考える催しを行っています。1面で紹介した「平和のつどい」もその一つです。

一昨年の平和のつどいの司会者である坂本丁次さんは冒頭、「戦争が終わって57回目の夏を迎えました。戦後、日本は戦争を放棄して平和を維持してきました。遠ざかる記憶をたぐり寄せるように、改めて平和の尊さを見つめなおそうというのが今日のつどいだと思います。」と述べられました。

そして昨年の司会者である原嶋卓美さんは「市民が語る戦後の福生パートⅡ、どのように皆様受けとめていただきましたでしょうか。いずれにいたしましても4人の方々には胸にしまってあった大変貴重な体験を語っていただきました。きょうのこの平和のつどいが、そしてこの4人の方々の体験談が明日の平和に少しでもつながってほしい、今そんなふうに思っております。」と「つどい」を締めくくられました。

戦時、戦後を知る方々のお話を聞く、記録として残し、次代を担う子どもたちにも受け継いでいく、それも大切なことではないでしょうか。

ぜひこれらの催しに目を留めていただき、ご参加ください。

2度と悲惨な戦争が起こらないように、平和が永久に続くことを祈りたいと思います。

昨年の「平和のつどい」での お話の一部をご紹介します

■こうして子どもたちも巣立ちまして、いま私一人福生です。ときどき市役所のサイレンが鳴りますでしょう。夜中に火事がありますと、私未だにね、「ああ横田基地が空襲だ。」なんて言って飛び起きるんですね。なんで横田基地が空襲されるのかわかりませんけれども、まだ衣類は未だにすぐ側に置いていく習慣がありまして、「横田基地が空襲だ。」なんてそれで飛び起きてから、そんなばかなことがあるわけはないのに、どこが火事なんだろうって気がつくようなわけでございます。

私の父も日露戦争に行ってきましたし、戦争とはずっと縁が続いておりますが、私どもの子どもの時代にはぜひそんなことがないように、少しでも平和な世の中になってみんなが楽しく暮らせるような時代になることを祈っております。（高山君子さん・都内から疎開。現在は茶道教授）

■8月の15日の終戦を迎えまして、それで飛行機乗りは終わるのかと思いました。けれども、朝鮮から内地へ来るまで要人を運びまして、それで復員をしました。

復員をしてきて、うちに帰って、8月28日の朝だったと思います。「ただいま」と言っても返事がない。中に人の気配がするんです。また「ただいま」と言って初めて家族が出てまいりました。それで言ったことが妹は「あっ、この幽霊には足がある。」嘘のような本当の話です。（田光康夫さん・元特攻隊員・進駐軍労働者を経て元東京駐留軍離職者対策センター理事長）～平成15年度「平和のつどい」記録から

パネル展「グラフで見る終戦前後の日本の世相」

戦後59年がたちました。このパネル展では終戦当時の日本の世相を当時のグラフ誌で展示します。当時発行された写真週報（内閣情報局発行）や、アサヒグラフ、毎日グラフなど実物のグラフからその頃の様子をうかがい知ることができます。ぜひご覧になってみませんか。そして戦争や平和について、改めて考える機会になればと思います。

日時 8月3日(火)～29日(日)、午前9時～午後9時30分
※ただし、月曜日は休館日のためお休みです。
場所 公民館本館展示室（市民会館内）
問合せ 公民館本館☎552・1711

日露戦争展の学習会と見学会

郷土資料室では日露戦争に関する資料を中心に「平和のための戦争資料展―日露戦争100年を振り返る―」を開催しています。

この展示に関連する学習会と見学会を次のとおり開催しますので、お気軽にご参加ください。

1 学習会「兵士からみた日露戦争」
日時 8月14日(土)午後2時～3時30分
場所 中央図書館2階会議室
講師 新井勝紘氏（専修大学教授・福生市文化財保護審議会副会長）

日露戦争展の展示風景

2 見学会
日時 8月28日(土)午後1時～4時 **見学先**（旧）日立航空機株式会社変電所（東大和市文化財）戦争での空襲の痕跡が残っています。
対象 市内在住・在勤の方
定員 20人
交通機関 庁用バス利用
参加費 保険代100円
申込み **1**・**2**とも郷土資料室☎530・1120へ。

影絵＆ブラックシアター 平和を考える日

影絵やブラックシアター、戦争体験の話などから、平和を考える一日としましょう

日時 8月21日(土)
場所 松林会館
【午前の部】午前10時45分開場、11時開演
内容 影絵「おはながわらった」、ブラックシアター「わにがわになる」
出演 劇団もこもこ
【午後の部】午後2時開場、2時30分開演
内容 ブラックシアター「だいこんの花」・絵本の朗読
出演 来住野すみれさんほか
【夜間の部】午後7時30分～9時30分
内容 第二次大戦でシベリアに抑留された方の話を伺います。
お話 高崎伊平さん
定員 各回とも先着70人
申込み 公民館松林分館☎552・3624

保険・年金だより

■国民健康保険

健康家庭に記念品を送ります

次のすべてに該当しているご家庭に記念品（市内商店街で使える商品券）をお贈りします。

①被保険者の世帯全員の方が、平成15年4月1日から平成16年3月31日の間、医療給付を受けていないこと。

②平成16年4月1日以降も引き続き福生市に住んでいて、国民健康保険に加入していること。

③国民健康保険税を完納していること。

配布時期 8月中旬から
配布方法 シルバー人材センターの会員の方が、該当しているご家庭にお届けします。
問合せ 保険年金課保険年金係

■老人保健

ご存知ですか老人医療の限度額適用・標準負担額減額認定証

老人保健法医療受給者証をお持ちの方で市民税非課税世帯（世帯の全員が市民税非課税）の方は入院の際、市役所の窓口に申請されますと、「老人医療の限度額適用・標準負担額減額認定証」が交付されます。

これを医療機関の窓口に提示していただきますと、入院した時に窓口で支払う一部負担金と入院時の食事代が減額されます。入院をする前に手続きにお越しください。

申請に必要なもの 老人保健法医療受給者証、保険証、印鑑
※老人医療の限度額適用・標準負担額減額認定証の有効期限は毎年8月1日から翌年の7月31日までです。
問合せ 保険年金課老人医療係

年金ポスターコンクール作品募集！

若い世代を通じ、広く都民に年金制度に対する理解を深めてもらうことを目的に実施されます。

応募資格 ①小学生の部→都内の学校に通う小学5・6年生②中学生の部→都内の学校に通う中学生③生学生の部→都内の学校に通う中学生
作品の規格 4つ切サイズの画用紙に水彩で描くこと。「年金」の文字を入れること。※応募は1人1作品とし、未発表の作品に限ります。
申込み 公立・私立学校の生徒・児童は各学校を通じて、国立学校の生徒・児童は個人で、9月17日（当日消印有効）までに〒163―0808新宿区西新宿2－4－1新宿NSビル8F東京社会保険事務局総務部企画課☎03・5322・1615へ。
問合せ 保険年金課保険年金係または立川社会保険事務所☎523・0351